



3年生学年通信
R6. 4. 24
NO. 3

いよいよ、6時間授業が始まり、3年生としての日常がスタートしました。子どもたちは、本当に元気よく、てきぱきと動き、一生懸命に物事に取り組んでいます。これからの成長が楽しみです。今回は、これまでとは取り組み方がちがう家庭学習について、学年通信を通してお知らせします。2年生までに行ってきた宿題は、バッチリメニューとして行います。また、自分で考え、好きなことを調べたり、表現したり、書いたりするものを新たに、週末の宿題としてワクワクメニューとして行います。子どもたちが自主学習ノートを通して、「楽しい」「成長した」と思えるように、一緒に取り組んでいきたいと思えます。よろしくお願いいたします。

家庭学習の全体について

○自主学習ノート(1日 学年×10分=30分=漢字1ページ、計算ドリル1ページ、音読&読書カードを目安とします)※「1日分」という表現をします。※それぞれの学級の学習進度によって多少変更する場合があります。

バッチリメニューは毎日(月~金)、ワクワクメニューは週末(平日は自由)に取り組みます。

※バッチリメニューは、漢字ドリル(漢字ノート)、計算ドリル(計算ドリルノート)、音読&読書カードをメインに行います。音読&読書カードは、音読の場合はご家庭で聞き、サインをお願いします。

※ワクワクメニューは、自分の興味関心に合わせて、自ら学びます。ノートはB5(方眼)を基本は使用します。1冊目が終わったら、新しいノートをご準備ください。なお、使いかけのノートでも構いません。

☆バッチリメニューについて

①漢字や計算の取り組み方について、子どもたちに学級で説明しました。

②漢字は小テストの範囲を中心に、計算は算数の授業の進度に合わせて進めていけるように声をかけます。計算については、専用のノートに1回目を、2回目以降については、新たにB5ノート用意するか、自主学習ノートにワクワクメニューと合わせて使っていただければと思います。

※子どもたちが困っているときには、個別に声をかけていきますので、ご安心ください。

☆ワクワクメニューについて

①「自主学習ノートの基本の型を身につけよう」のプリントをもとに、ワクワクメニューの取り組み方について、子どもたちに学級で説明しました。また、学級でも一度取り組んでみました。それでも、慣れないことなので、困ってしまうことがあるかもしれません。ご家庭でもアドバイスをしていただけると助かりますが、よくわからないときは、気にせず「先生に相談しておいで」と言っていただければ大丈夫です。上手にやるというより、自分で少しでも考え、決め、取り組めることが大事だと思っています。少しずつ慣れていければ大丈夫です。

②好きなメニューを選び(一覧にないものを自分で考えてもOK)、調べたり、やってみたりしながら、ノートにまとめます。

Q&Aを載せましたので、参考にしてください。

Q 子どもが自分で選べません。(何をしてもいいかわかりません)。

A 内容自体については自由ですので、子どもたちが楽しみながら取り組めるものがいちばんです。その上で、ワクワクメニュー一覧を見たり、本人の好きなものを挙げたりしながら、子どもに薦めてください。例:ゲームが大好きな子であれば、「好きなゲームの楽しいところ」、「好きなゲームのキャラクター」、「ゲームの攻略法」などです。本好きの子であれば、おすすめの本をイラストつきで紹介するなどです。また、子どもたちの様子を見ながら、学校でも個別に対応します。本当に困ったときは、(絵)日記でも大丈夫です。

Q まとめ方が難しい。

A ノートの例をまねて書くことからスタートしてください。少しずつ成長していけばよいと考え、子どもたちがまとめたノートを褒めてください。その上で、レベルアップのために1つアドバイスするのがよいと思います。(少しイラストがあるといいね。字はもう少し大きい方が見やすいかもね。今度は、〇〇について調べてみたら楽しそうだねなど、基本は認める、褒めるで大丈夫です。)

Q 時間がかかりすぎている気がします。

本人が好きで行っているのであれば、ご予定の許す限り、無理のない範囲で取り組めるとよいと思います。一方で、1ページまとめるために、決める時間、調べる時間、まとめる時間のトータルで時間がかかる場合もあると思います。そのような場合は、今週と来週のように分けてもらっても構いません。例えば、今週は、〇〇について、決めた理由と調べたということだけを振り返りとして書く。来週に、調べたことをまとめるなどです。

※戸惑われる部分もあると思いますが、子どもたちが「学んで楽しい」って思う機会に少しでもできたらと思っています。よろしくお願いいたします。